

電信寫

昭和二〇

平 太田 十一月四日一五二〇發  
本省 四日二一五三發

朝鮮軍參謀

政 務 省 外務省

0379

朝鮮參謀第五一五號

(在鮮殘留軍統率者ニ關スル件)

昨十一月三日ヲ以テ泰山部隊主力ノ歸還輸送ヲ終了シ之ヲ以テ北  
緯三八度以南朝鮮勤務者ハ太田軍管區司令部(約二〇〇名)京城連  
絡部(スガワ 副長以下三〇名)大邱師管區連絡班(約四〇〇名)內鮮  
一〇〇名慶州ニ派遣シアリ主トシテ殘留軍需品ノ整理實施中(釜山  
連絡部(久保副長以下一五〇名)外ニ陸軍病院八〇名埠頭勤務部隊約  
二〇〇名)及濟州島部隊約二〇〇〇名トナレリ  
陸軍省以下六字不明)  
通信先陸軍 內務 外務次官、京城、釜山、大邱、五八軍

0380

電信寫

昭和二〇

平 太田 十一月六日一〇五〇發  
本省 六日一三二〇發

朝鮮軍參謀長

朝鮮參電第五二二號

(朝鮮及濟州島ノ復員部隊輸送ニ關スル件)

十一月四日博多上陸ノ部隊ヲ以テ第五航運區北緯三八度以南部隊  
全部ノ輸送ヲ完了ス  
三十一日現任濟州島未輸送部隊ハ約一三〇〇名ニシテ五日四  
二〇〇名及六日四〇〇名又輸送ノ最終船團ハ九日若シクハ十日  
頃入港ノ予定ナリ  
通信先 次官、外務次官、博多、京城、釜山連絡部

外務省

電信寫

午又

王冠軍政

死 大目

物 參 附 第 五 四 一 號

朝鮮軍官處參謀長(太田)

昭和二〇

一	一	一	一	一
七	三	一	一	一
〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇

結文看發

外務省

0381

十一日不卑ヨリ當司令部及京城連給班ハ二十日頃出發歸還ヲ指令シ  
來タリ

車ハ京坂連給班ニ取少限ノ人員ヲ殘置スルコト就テハ白下折衝中ナ  
ルモ邦人軍師等ノ爲ノ機嫌ヲ東京ヨリ派遣方急速ニ實踐セラレ度  
通簡允 東京 参考 京坂、金田 (終)

8

6-(2)

台灣軍

41001-2

中	交	參	多	兵	停	功	法	衛	建	衣	主	總	兵	兵	戰	軍	軍	軍	因	權	人	幹	文	副	次	六
總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總
總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總

軍務課

略號至急電報

先次旨

台參情電第八分號

台灣軍管區參謀長(台參)

一 要旨

(1) 臺灣之治安狀況依然概不平靜。一部於八日發生暴行，低下民衆之遵奉精神，低調等ヲ認メラレ軍官物資集團窃盜散発シテリ。

(2) 思想動向之閩シキ未ダ憂慮スベキ事象ナキ。一部於テハ逐次反日的言動露骨化スルニ至レリ。

(表)



A.1.0.0.1-2

一、 四 支店一四二二 詳了一五〇八 〇四〇四六

支、 総務部長

報、 電信課

報、 各支店部長、 高層司令

〇四一〇〇〇在館

中區方面杉敷庭在館報共ノ四(十一月三日)

一、 支店状況

イ、 各地支店ハ十一月中旬ヲ以テ完了セリ但シ海島ニ到スル中

區海軍支店員) 到着期日不明

ロ、 上海支店ニ於テハ白下福前支店員中ニシテ杉了迄ニハ後叙

ケ月ヲ安スルモノト認メラル

ニ、 裝ニ木小兵組等執行責任者トシテ十月四日中區區隊ニ調査取訊ヘ

ラ交ケツツアリシ陸軍司令部自研對少府ハ十二月二日停取サレタ

リ

45

三、舊日本艦艇ニハ中國海軍ノ要望ニ依リ我カ方一部乗員ヲ殘留勤務  
セシメアリタルモ中國乗員ノ技術修得ニ伴ヒ我カ方乗員ヲ撤シツ  
ツアリ

四、遠送狀況

- イ、華北方面 米「L S T」及日本商船ニ依ル遠送人員ハ軍民約  
四萬（十一月末）ニ達ス青島方面根據地隊ハ司令官以下二六名  
ヲ殘シ全員引揚完了
- ロ、華中方面 十二月一日居留民引揚ケ第一船明優丸上海入港「  
S T」ニ依ル輸送開始時期未定
- ハ、華南方面 香港地區ハ英商船ニ依リ海陸軍一七〇〇名歸還



一二 一八 受信〇〇五七 詳了〇八四〇 電一七一二〇  
一八〇〇九

一八 警司令  
二兩道長官

二五 械司令官  
二七 警司令

（進徹表示）外務省

第二復員省、兩万軍總司令部

一〇万艦司令長官

第一三一六〇〇番電 二分ノ一二

二兩道第〇六〇〇二〇番電返

（マノタワリ）

一、治安概ネ良好臺灣人暴亂ニシテ内地人ト共ニ生活スルヲ好マス  
臺灣、朝鮮、「パラオ」人獨立的生活ヲ計畫セル者アリタルモ  
目下從前通り浴可キタリ

二、陸軍五七一八（「モミ」ヨリ榮病中ノ員數ヲ含ム）陸軍八八四

A.1.0.0.1-2

計六六〇二、他ニ「ホーランディア」ニ搬運シアル労働隊陸軍  
九二一、海軍一八二、計二一〇三  
三、濠軍命令ニ依リ給糧ヲ一七一八「カロリ」ニ限定サレ且海軍  
隊有米六〇噸ヲ陸海軍接分セル爲日下一人一日米約八〇瓦、手  
約九五〇瓦、野菜兵ノ他約三五〇瓦程度食シ有ルモ日々體力減  
退シツツアリ且副傭労働隊ニ健康兵ヲ扱カレ外ニ毎日「マノク  
ワリ」進駐軍ノ爲労働隊三〇〇名ヲ差出シアリ  
自治農耕、全ク進捗セス生活ハ極メテ不安ノ状況ナリ（了）

略號  
略號  
略號

宛次官

台灣軍參謀長

台灣電第一七五號

台灣治安一般狀況

終戰直後豫想外ニ良好ナリシモ官吏殊ニ警察ノ威信  
 低下ニ爲九月頃ヨリ逐次悪化ノ一路ヲ辿リワツアリ  
 各地ニ於ケル掠奪暴行放擧ニ違ナク殊ニ警察官吏  
 對スルモ極メテ多シ最近ハ日本軍人ニ對シモ現  
 ルニ到リ目下ノ所兵カヲ以テスルニ非ザルハ治安維持困難ノ狀況  
 ナリ又闇ノ横行等ニ伴ヒ米ノ供給困難ヲ加ヘ一般市民ハ  
 勿論將來軍食糧取得モ中國例ヨリ強カナル斡旋

一〇	一八	一	一	一
二〇	六五	二	四	二
四五	一四	四	四	〇
五五	五五	四	〇	發
莫	莫	莫	莫	發

ヲ受クルニ非ガト極メテ困難ヲ豫想セラル  
軍ハ未ダ武  
装ヲ解除セラレ非ザルモ之ガ實現ニ伴ヒ自衛兵器ミナ  
リテモ少クモ大陸ト同様ニ取扱ハル如ク折衝ノ豫想  
モ台湾ニ於ケル治安ハ將來誠ニ憂慮スベキナルヲ豫想  
セニル

通電先

次官 榮

(終)

電信寫

二二四 受信二〇五七 譯了二一五〇 雷二四一二

發 高警司令部

着 總務局長

報 各領第二復員本部支部

第二四一六三六番附

發 高警參謀長

島外ニ派遣セシ臺灣人ノ現情ヲ把握シ之カ善後處置ヲ適切ナラシム  
 ルト否トハ將來臺灣ニ在留スル日本人ノ運命ニ關スルゴト至大ナリ  
 然ルニ夏日及海四四ニ依リ歸還セル臺灣人ノ輸送ニ當リテハ恰モ省  
 線電車ノソレト同様ナリシモノノ如ク名簿スラ作製シ非ス既ニ基隆  
 高雄等ノ高層官衙カ中國運輸司令部ノ手ニ移リ之等艦船トノ交通モ  
 全ク許サレサル現在トナリテハ日本側ニヨル現地調査ハ思ヒモ寄ラ  
 サル情況ナルニ就イテハ今後乘艦前名簿（氏名、年齢、本籍地、派  
 遣地及派遣先勤務所ヲ記載）ヲ作製到着地ニ於ケル中國運輸司令部



外務省

ヲ經テ當方ニ入手シ得ル機嫌メ手配相成度旨別輸送機軸ハ令輸送  
 力ヲ強メ領土ナルカ如キ錯覺ヲ有シ入港ニ差シ泊リテ碇繋ノ補給  
 手布ノ增加等需織更求セルモノアルモ今茲船クノ如キハ漁メ充分ノ  
 餘裕ヲ以テ内地ノ聯合船機軸ヨリ預地中碇係ニ碇繋ニ同時ニ中  
 ヲリ本府ニ碇終促進ニスルニ非サレハ毎時日ノ間ニ日約ヲ達シ得サ  
 ルニ付右機軸ノ向キニ通達方取計ハレ度  
 追テ基隆ニ於ケル露海邊華人ノ情況ハ一般ニ平穩ナルカ如キモ(露  
 海邊生報)ハ露邊者ノ誤トシテ「ウフウ」方面ニ於ケル日本軍ノ露  
 海邊人虐殺、糧食品奪取等ノ恣意的記察ヲ撰ケ露海邊同胞ノ遺家持ヲ  
 如何ニスルヤ敢テ在露日本人ニ問フ等ト論シ(了)









9

6-(3)

榊  
太  
方  
面  
軍

大日本帝國政府

宛次官

北管參情第一九五號

昭和五〇九一八

(國定規格 B5 (15 × 25 厘米))

樺太方面狀況(九月十日以前)

樺太方面ヨリ脱走者言ニ依リ六(確度甲)大泊(トシナン)

(豊原東約三十五軒)及「留多如」附金ニ於テソノ食糧(米食野菜

及衣服寝具類)掠奪ハ相當烈シキモアリ右局地的且占領直後

ニ時的現象ナルベキモ若シ之ヲ以テ樺太全線ヲ推セバ本年冬季

ニ於ケル民生ハ極度ニ逼迫スルモノト思料セラルヲ以テ先ツ速カニ

不法行為ハ停止ヲ要求シ現地實査上所要ノ對策ヲ講ズルノ

要アルモノト認ム

ニ細部ニ関シテハ情報左ノ如シ

(1)「ソノ」海軍ハ大泊ヲ基地トシ晝間ハ中知床岬ノ線ヲ哨戒シ

大日本帝國政府

艦船ヲ配置シテ連日砲聲ヲ聞ク(我が空航艦ヲ砲撃シタルモカ

(2)各地トモ食糧倉庫ヲ破壊シ米等ヲ掠奪ス(後發アラズ)

耕作物ハ掠奪シ「諸不明」ホウシヨクニマカス

(3)民衆ハ良好ナル着衣ハ之ヲ掠奪シアリ

(4)寝具及「諸不明」ハ之ヲ悉ク收集シアリ

(5)食糧及寝具等ハ之ヲ大泊ヨリ艦船ニ依リ何レカ搜出シアリハ等

方面ニアラズヤ)

(6)避難民衆携行物品「諸不明」貨残置物等ハ大規模

悉ク掠奪シアリ

(7)夜間市街ニ於テハ交通遮斷極テ嚴重ナリ隣村相互連絡モ

遮斷セラレアリ

(8)軍隊ハ狀況ハ不詳ナルモ集結監視アリテ勞役ニ使用セラレアルニアラ

ズヤ思料セラル

(9)警察官ニ對シテハ嚴重ナリ





初ハ下相地  
 三局地上處理點ハ現在迄榊太ニ在リテハ豊原  
 千島ニ在リテハ幌延榊原ヲ三トシ千島各島  
 ナリ  
 四、通信連絡ヲ速カニ恢復スルニ際シハ極力現  
 地交渉ヲ指導シアルモ米ダソノ取側ハ諒解  
 ヲ得ルニ至ラザルヲ以テ中央ヨリモ極東ノ軍相  
 揮官ヲ通ジ速カニ復活ヲ配慮スル度

(終)

10

E-(4)

南洋方面軍



軍務課

情報

(海軍省ヨリ廻付)

平急電報

發

三〇根

昭和二〇、一〇、一八

16

平急電報

海軍省ヨリ

報 四艦隊

第一四一〇五二番電

軍務課

軍務第〇四八五〇番電

各島嶼ニ付記註願 互ノ通

収容地點

糧食狀況

衛生狀況

其他

ハライオ

ハライオ港(但シテシギス永道ニ假泊水先人ヲ乗セクラマダオ此水

道ヲ經テ入泊ス)

四一七六三(三〇七〇) 六四七三(六〇三) 一〇七〇(四五三)

(裏へ)

計三六三五(四二五)

四 昨年十月以來陸軍統制下ニ陸海兵ニ凡トナリテ現地自治ヲ邁  
 進シ既耕地ノ徹底的利用並ニ新規開墾ニ務メタルモ既耕地ハ  
 一般ニ連作ト惡質病蟲害蔓延ノ爲ニ主食代用品ノ收穫豫  
 定所要ノ三分ノ以下ニ減少自治困難窮迫ナルハ事實ナリ其  
 ノ間陸海兵三者ノ間ニ相當ノ差異アリ 即チ陸軍ハ作戰上  
 其指揮下ニ入りタル海軍部隊中ノ一部ノ給養ヲ擔任(其ノ他本  
 年一月乃至三月ノ間海軍部隊ハ陸軍ヨリ主食ハ四噸及調味料  
 ノ補給ヲ受タリ)又他官民島民ヲ掌握シ勞力使用ノ代  
 償トシ給養ヲ擔任シ來タリ今尚相當量ノ貯藏品ヲ保有  
 シ主食代用品減收ニ依ル榮養不良ヲ主食品ヲ以テ補足シテ  
 海軍ハ六月中旬以降貯藏品皆無トナリ固有海軍基地南  
 京部隊ハ現地生産品ノミハ保存シ來レルモ終戰後陸軍ノ籍ヨリ

南坪戸(シラオ所)

新堂清人(三六)氏、安否

判明次第在卷ノ

移住区言月寺三、一六〇

元田耕造

陸軍省補佐兼

10.19.

0408

復歸セル部隊ニ對ス陸軍供與ヲ十月ヲ以テ打切ルコトナ  
リ此ニ對シ陸軍ニテ新ニ定ムル軍官民ニ對スル一人當リ耕地  
割當數ニ依ル追加耕地ヲ讓リ受ケタル該耕地ヨリ八差當リ  
收獲スベキモノ殆ドナク四月以後ニアラザレバ期待出來ズ差當ノ  
餓餓ヲ總ク事困難ニシ憂慮スベキ實狀ナリ官民又陸軍  
供與下ラシキモノ四月以後ハ主食代用品ノミニ依存セシムルモノ  
如ク其ノ公配給量ハ海軍ヨリモ更ニ少ナシ

(参考)

④十月上旬陸海軍主食品補給計畫ニ依ル日額熱量「カロリー」  
比較 陸軍一〇五〇 海軍個有供與部以六五八 陸軍「ラウ」  
部隊 八六〇 官民男四二〇 女三七八 子供二九四 死  
没者情況ハ陸軍最近十月間ニ戰傷死四三五 脚氣其他  
八七二 計二三〇七名、海軍ハ最近九月間ニ戰傷死二九

(参考)

榮養英翹 其他二五八計一七四名アリ海軍現在員情  
 況(一)ニ對一(二)ヲ示シツツアリ官民ニ於ケル死没者情況詳細  
 不明ナルモ其ノ死亡率ハ餘リ高カラザル見込ナリ  
 尚九月中旬米側ヨリ糧詰類ヲ至トス糧食一三五噸補給ア  
 リ海軍割當ハ先方ヨリ軍官兵ニ對シ夫々指定シ來タレタ  
 陸軍ニ於テ一拾受領シ軍宛ハ略供與人員ニ依リ按分セリ

終



E (5)

沖  
繩  
軍

電信寫

一二三 受信 一七三〇 詳了一八〇五 龍

般 右垣警備隊司令

般 吳復總務部長

着 總務局長、人事局長

高警參謀長

左復總務部長

北臺空司令  
古警司令

第二〇一〇四五番電二分一、二

十八日一四三〇不繼逐艦一隻十九日一七三〇不船「ゲール」

織入港「ウツド」大佐來島會談妥旨左ノ如シ

北緯三〇度以用ノ兩西諸島ニ軍以ヲ施行サレ四、五日中ニ軍

政府代表者來島ノ豫定

四) 第二十八師團ノ指示ニ基キ有償拂下ケハ認メス公共團體ニ對

スル無償拂下ケノミ認ム軍需品ノ處理ニ關シテハ過ツテ指示

ス

一切ノ軍需器具設備類ノ島外持出ヲ禁ス





一 沖繩島出身者、臺灣人、朝鮮人及特ニ指定スル陸海軍將校ハ  
「ゲイブル」號ニテ沖繩ニ輸送ス

二 「ゲイブル」號乗船人員

(1) 海軍指定將校北邊空申尉青木(ヨ五二四八五三)及沖繩島出身下士官兵十六名

(2) 陸軍指定將校九名、沖繩島出身將校二名、下士官兵四三八名

(3) 現地滿期者二二〇名  
一 陸軍水上勤務隊朝鮮人二〇八名及同隊將校三十一名、下士官兵十三名、合計九〇八名

12

6-(6)

小笠原島方面軍



ポツダム宣言受諾關係一件

善後措置及各地狀況關係

(朝鮮)

A'1.0.0.1-2